

京都大学若手人材海外派遣事業 スーパージョン万プログラム
研究者派遣元支援プログラム

成果報告書

提出日：平成 27年 6月30日

1. 採択者			
氏名	渡邊 紹裕	採択年度	平成 26 年度
部局	地球環境学堂	電話	
職名	教授	メール	
2. 渡航者			
氏名	堤田 成政	採択年度	平成 26 年度
部局	地球環境学堂	電話	
職名	助教	メール	
研究課題名	急速な都市化等、人間活動による土地利用/被覆変化の詳細把握		
海外渡航期間	平成 26 年 6 月 1 日～平成 27 年 3 月 1 日 (資金名：頭脳循環を加速する若手研究者戦略的海外派遣プログラム)		
3. 渡航に関する情報			
渡航先	国名：イギリス 大学等研究機関名：レスター大学 研究室名等：地理学部 受入研究者名： Alexis J. Comber		

<p>渡航期間中の出張</p> <p>(渡航期間中に一時帰国や学会参加等の目的で短期の出張があった場合、その目的、行き先、期間を報告して下さい。)</p> <p>※複数回に渡る場合、適宜行を追加して下さい。</p>	<p>出張先：ウィーン（オーストリア）</p> <p>目的：GIScience 2014 での研究発表のため</p> <p>期間：2014 年 9 月 20 日～27 日</p> <p>出張先：ルーベン（ベルギー）</p> <p>目的：頭脳循環プログラムワークショップでの研究発表のため</p> <p>期間：2014 年 10 月 22 日～25 日</p>
<p>4. ジョン万プログラムによる成果</p> <p>以下の項目について、渡航期間中の成果、または今後見込まれる成果を具体的にお書き下さい。ジョン万プログラム研究者派遣プログラムを通じて渡航された場合は、渡航者の提出する成果報告書の写しを添付することとし、この項目の記入は不要です。それ以外の海外派遣事業等を通じて渡航した研究者にかかる派遣元支援の場合は、以下の項目を記入して下さい。</p>	
<p>国際共著論文の執筆</p> <p>(論文の題名、雑誌名、共著者名、刊行予定等)</p>	<p>Tsutsumida N. and Comber A.J. (2015) Measures of spatio-temporal accuracy for time series land cover data, International Journal of Applied Earth Observation and Geoinformation, 41, 46-55.</p> <p>Tsutsumida N., Comber A. J., Barrett K., Saizen I. (2014) A time series analysis of land cover change: random forest models of annual changes in urban land cover, Extended Abstract Proceedings of the GIScience 2014, 446-449.</p>
<p>更なる外部資金獲得に繋がる国際共同研究の立上げ/実施</p> <p>(国際共同研究の内容、実施計画、応募予定の外部研究資金等)</p>	<p><u>国際共同研究の実施</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 土地被覆分類の高精度化と精度評価手法の検討 (堤田、Comber, Harris) <ul style="list-style-type: none"> - 研究進行中。住友財団に申請予定 ・ ファジー、不確実性を考慮した土地被覆分類の検討 (堤田、Comber, Harris) <ul style="list-style-type: none"> - 研究進行中 ・ 全球砂漠化モニタリングの実施 (堤田、Balzter, Barret) <ul style="list-style-type: none"> - 研究進行中 ・ 地理的加重主成分分析手法の応用研究 (堤田、Comber, Harris) <ul style="list-style-type: none"> - 研究進行中

<p>国際研究ネットワーク の新規構築／深化</p> <p>(参加した学会や その他の学術・交流 組織、そこから構築／ 深化した研究ネットワ ークの内容等)</p>	<p><u>参加した学会</u> GIScience、RSPsoc</p> <p><u>その他の学術・交流組織</u> Centre for Landscape and Climate Research</p> <p>主にレスター大学を中心としたイギリス国内のGIS・リモートセンシングに 携わる研究グループとのネットワークを構築した。</p>
<p>在外研究経験 による研鑽</p> <p>(渡航先機関で得た 研究の展開方法、研究 室の運営方法、教育方 針・人材育成方法等)</p>	<p><u>研究の展開方法</u> 地理的加重モデルの活用、発展 ファジー、不確実性を取り入れた地理情報科学研究 などの遂行</p> <p><u>教育方針・人材育成方法</u> 研究テーマの設定方法 論文執筆法 などの学習</p>
<p>フィールド研究 の進展</p> <p>(渡航先国で実施した 実地調査や文献調査 等の内容)</p>	<p><u>渡航先国で実施した実地調査</u> なし</p> <p><u>文献調査</u> 地理情報科学に関する文献レビュー</p>